

環境に関する取り組みに関する実行度評価表	
学校名	所沢市立北秋津小学校
環境目標：	身近な環境に関心を持ち、持続可能な社会の創り手となる児童の育成
もっとも力を入れた環境活動（自由記述）	
活動名	
環境への関心を促す校内空間づくり①夢のハーモニー広場②きたあきつ水族館③リサイクル活動④「銀杏プロジェクト」の継続・3年目⑤農作物と緑の通路⑥埼玉県みどりのアドバイザーの活用	
どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか	
ESDの視点を加えてを教育活動を進めている。児童だけではなく、保護者、教職員、地域の方々など、学校に関わる人々の環境への意識が高まった。子どもたちが持続可能な地域・社会の創り手として具体的に行動する場面が増えてきた。	
活動内容	
①夢のハーモニー広場 令和7年3月に閉園となった所沢第二幼稚園からアップライトピアノを譲り受けて、東昇降口の廊下に設置した。「夢のハーモニー広場」と名づけて、音楽委員会が校内ストリートピアノを運営している。なかよしタイムに響くピアノの音には多くの子どもたちが集まり、拍手があり、思わず口ずさみ、素敵な時間となる。備品台帳シールの登録は昭和58年とあり、ピアノの再利用とともに園児たちの思いも引き継いでいると感じる。 ②きたあきつ水族館 ストリートピアノの隣に「きたあきつ水族館」がある。大型水槽にヘラブナやモツゴ、ドジョウ、カメ、イモリを飼育している。校庭の築山で採れたタケノコや、カマキリの卵、アゲハチョウの幼虫も並べて展示し、子どもたちが多様な生物への関心を高められるようにした。科学雑誌『ニュートン』や新設した5台の新聞台へ『読売KODOMO新聞』を置いて読めるようにした。自由に使える顕微鏡も常設し、疑問があればさらに自分で調べることができる。このコーナーの一角で、学区内の新設公園について、名前や植樹希望のアンケートを取り、身近な街づくりや自然環境について考える機会とした。 ③リサイクル活動 環境委員会が、新たにペットボトルキャップの回収活動を始めた。回収箱にはいっぱい集まってきている。家庭で読まなくなった本の寄付の受け入れも継続しており、棚をリサイクルして作った本棚に置いて「立ち寄り文庫」として、自由に読書が楽しめる場所とした。学校司書が時季に合わせたジャンルの本を追加して、季節も感じられるようにしている。読書活動の充実のために、3年生の角川武蔵野ミュージアム見学も今年度に始めた。 ④「銀杏プロジェクト」の継続・3年目 校庭の銀杏を5年生が拾い集め、地域の方に手伝ってもらいながら商品化した。販売用ポップを作り、近隣の無人販売所に置かせていただいた。今年度は子どもたちが販売所で実際の販売も行い、地域の方と交流があった。5年生の子どもたちは、SDGsポスターを作成して吾妻地区文化祭に出品もしている。派生プロジェクトとして、特別支援学級の子どもたちが、校庭の梅の実を拾い、梅ジュースや梅ジャムを作った。 ⑤農作物と緑を感じる通路 緑のカーテンの設置数を昨年度より増やした。2階のバルコニーに届き、ヘチマやヒョウタンを児童が観察した。校内通学路に設置したことで、他の各学年の理科観察用植物やパケツ稲、菜園の農作物の成長とともに、児童が日々季節や自然を感じることができた。 ⑥埼玉県みどりのアドバイザーの活用（校庭） 来校していただき、校庭の築山を整備する「ターザンの丘新設計画」へ助言をいただいた。地域の方から「ターザンの森」と呼ばれていた校区内の森（区画整理で開発）のよさを、校地内に再現したい。学校農園とつなげて、園芸から虫取りまで広く楽しめる丘としたい。県みどり自然課の補助金を活用して、ピオトープの新設も予定している。	
活動の写真	
  	